



日本では、茶碗を持って食べるのが礼儀正しいとされていますが、韓国では、茶碗をテーブルに置いたまま食べます。

☞ 食器を持って食べることは「いやしい食べ方」として儀儀が悪いとされます。







日本では、そばは勢いよくすすって食べるのが粋とされていますが、イタリアでは、スパゲッティをすするのはマナー違反です!

☞ ちなみに食器の音を立てるのも「不快」とされます。






日本では、ハンカチはお礼やお祝いの贈り物の定番ですが、ブラジルでは、ハンカチは悲しい贈り物とされています。

☞ この他にも、中国では傘や扇子は「絶交」のしるしとされています。また置き時計は「お葬式」と同じ発音のため贈り物にはしません。

日本では、いい歯が生えるおまじないとして、子どもの抜けた歯は家の屋根や縁の下に投げますが、アメリカでは、枕の下に入れます。すると、歯の妖精が来てコインを置いていきます。(親がこっそり行きます)

☞ コスタリカでは、子どもの歯はピアスやネックレス、指輪などのアクセサリに加工して身に付けます。

参考:「それ日本と逆!?文化のちがひ 習慣のちがひ」(学研 2012)

2018(平成30)年12月発行

小山市役所人権推進課  
☎0285-22-9292

小山市教育委員会生涯学習課  
☎0285-22-9663



人権相談

毎月第2金曜日(予約不要)午前10時~午後3時

小山市役所内(場所は人権推進課にお問い合わせください。)

ふれあいと思いやりのあるまち

# おやま

こころとこころで向き合っていますか!  
身近なところから考えてみましょう




小山第三小



豊田北小

これらの花は、例年、人権擁護委員から市内小学校・義務教育学校に贈られている『人権の花』である。きれいな花を咲かせようと、子どもたちが大事に育てているのじゃ。

花の命をいつくしむように、自分の命やあらゆる人々の命を大切に受け継いでいってほしいものじゃのう。



じんけん博士

ホームページ「小山人権の扉」  
URL <http://www.oyama-tcg.ed.jp/~jinken/>

小山市  
小山市教育委員会



# いじめゼロ子どもサミット

# さまざまな取組の紹介…



今年も、いじめをなくすために、市内各学校の代表児童生徒が一同に会し、『いじめゼロ子どもサミット』が開催されたのじゃな。  
みんなそれぞれに感じたことや学んだことを各校の取組について学校全体にしっかりと広げているようじゃ。

学校区ごとに集まり、これまでの取組と成果を話し合いまとめました。

第1回サミット参加の卒業生からの話を聞きました。

3カ所にわかれて、発表を行いました。

いじめ撲滅のために一人一人が実行することを真剣に考えました。

各学校区の代表児童生徒が自分の決意を堂々と述べました。

- どんな時でも必ず思いやりをもつことを忘れません。
- きずなを深めるために、友達の良い所をたくさん見つけます。
- いじめゼロ宣言をしっかりと守り、学校からいじめをなくしたい。
- いじめを許さない環境を作っていきたい。
- 相手のことを受け入れ理解しようとする姿勢を大切にします。

会場全体の様子

小山城東小



『きてきてポスト』  
自分が困っていたり、困っている人を見かけたらこのポストから先生に伝えます。

穂積小



『いじめ0 私の誓い』  
全校児童がいじめゼロに向けた誓いのぼりに掲げ、意識を高めています。

小山第二中



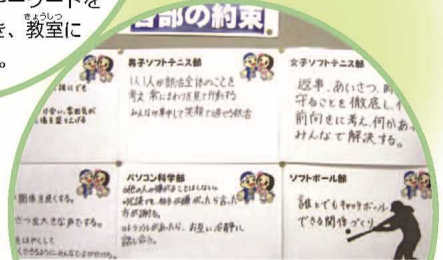
『折り鶴』  
一人一人がいじめ防止のキーワードを考えて折り鶴の羽に書き、教室に掲示しています。

大谷南小



『いじめをしない宣言バッジ』  
このバッジは児童会で作成し、「いじめをしない」と宣言した児童に贈られます。

桑中



『いじめゼロ 各部の約束』  
部活動ごとに行動目標を設定し、互いに励まし合える活動をしています。

子どもたちが主体的に取り組んでいるようすがよくわかるのう。この他にも、工夫をこらした取組がたくさん報告されていて、嬉しくなってくるわい。  
われわれの住むこの小山市が、いじめのない平和なまちであってほしいもんじゃ…。

